

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年9月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100904		
法人名	医療法人社団 健晴会		
事業所名	グループホーム ますおか内科	ユニット名	1階
所在地	〒312-0054 茨城県ひたちなか市はしかべ1-2-3		
自己評価作成日	平成24年2月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年9月21日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0872100904&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年4月10日	評価確定日	平成24年9月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>基本理念である【利用者様のその人らしさを尊重し、地域の方々と交流を深め、笑顔で健やかに過ごせるように】そして、協力病院(母体の医療法人社団 健晴会 ますおか内科クリニック)との連携により適切な医療が受けられるように支援しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>内科医院の医師による月2回の訪問診療と看護師による週3回の健康チェックは利用者や家族等の何よりも大きな安心となっている。</p> <p>利用者は近くの公園に散歩に出かけるほか、季節に応じた花見やドライブを楽しんでいる。</p> <p>職員は利用者が不安や不自由がないよう職員で連携して明るく対応し、利用者一人ひとりの希望にそった支援をしている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の基本理念をスタッフ全員が賛同し、念頭に置きながら、日々のケアに取り組んでいる	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、事務所に掲示するとともに職員会議時に全職員で確認して共有を図り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議などで情報を得ることができ、また、地域のボランティアの方々との交流を定期的に行っている。	月1回地域のボランティアが来訪し、マジックや踊りなどを披露している。 地域の人が制作した雛人形を持って来てくれたり、地域の夏祭りに利用者と職員で参加して交流している。 職員は地域の資源ごみ回収の当番を担っているが、事業所の行事に地域の人々が参加したり、利用者が地域の一員として日常的に交流するまでには至っていない。	地域で行われる行事に参加するばかりではなく、利用者が住み慣れた地域の一員として、日常的に近隣の住民や小学校の児童、中学校の生徒、保育園児と交流ができるよう支援することが望まれる。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在までの経験、自習で得た成果を地域に伝えられるように、お便りなどを地域周辺に置き、広報に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、写真を見て頂きながら行事や日々のサービスなどについて、報告や話し合いを持っている。参加して頂いている方のアドバイスにて取り組みを見直し、サービスの向上を図り、市役所へ報告書を提出している。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、地域の自治会長、民生委員で2ヶ月に1回開催し、運営状況や避難訓練等の実施状況などを写真を見せながら報告するとともに委員からも意見を聴き、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 会議終了後に次の会議開催日時を調整し、多くの委員が出席できるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	利用者調査の協力や見学者やボランティアの受け入れを随時対応している。また、必要時には行政に連絡をし相談をしている。	市担当者とは生活保護受給利用者の手続きや連絡などで訪問したり電話で相談するなど、日頃から連絡を密にしている。 介護保険法改正に伴う事務手続きで市主催の説明会に職員が出席している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わないものとし、見守りと観察を怠らないようにしている。当ホーム前の道路は交通量が多く、事故防止の為にやむを得ず施錠する場合にも、御家族に説明をし文書にて承諾を得ている。	身体拘束排除マニュアルを作成するとともに、職員は年1回実施する内部研修で禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、事業所が交通量の多い道路に面していることから、早朝や夜間等のほか職員の目が届きにくい時は施錠する場合があることを家族等に口頭で説明している。 前回の目標達成計画に玄関の施錠について書面で同意を得ることを掲げていたが、実現するまでには至っていない。	玄関の施錠については家族等に書面で説明し同意を得るとともに、施錠をしなくてすむように職員で定期的に話し合い、実現に向けて取り組むことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から勉強会や会議の中で、虐待防止についての意識を高めるよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性について話し合い、必要に応じて制度を活用できるよう勉強会を行っていく。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結及び解約時には、十分な説明を行うと共に、入居者、家族に疑問点や不安が無いかを確認し、理解・納得を得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員、管理者共に入居者及び家族と積極的にコミュニケーションを図り、その中に含まれる希望や不満・苦情を吸い上げ、それらの点について話し合い改善できるように努めている。	職員は利用者との日常の会話を通して意見や要望を聴くよう努めるとともに、家族等からは面会時に事務所で意見等を聴いている。 日頃から利用者や家族等が意見や要望などを出し易い雰囲気づくりに努め、出た意見等は職員会議で話し合って運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は、月1度の全体会議や毎日の申し送り等から各職員の意見に耳を傾け、業務に反映していけるように努めている。	管理者は毎日の申し送り時や月1回開催する全体会議で職員の意見や要望を聞いているほか、話し易い関係づくりに努めている。 職員ヒヤリングを月1回実施し、出た意見等を記録するとともに運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の勤務状況を把握し、適切な人員配置を行い、過度のストレスや疲労が蓄積しないよう働きやすい環境を整えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員が研修を受けられる機会を確保し、個々が積極的にスキルアップやサービスの向上を持てるように努めている。事業所内でも研修の報告と共に勉強会を開き、ケアの向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	介護支援専門員・グループホーム連絡協議会に属し、研修会等に参加しながら積極的に情報交換をする機会を持ち、質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談の際に御本人様と面談し、困っている事や要望を良く聞き、出来る限り把握し相手のペースに合わせて対応するように心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の不安や困っている事・望んでいる事にも、耳を傾けながら把握し時間を掛けゆっくりと聞く姿勢を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際に、他のサービス利用も視野に入れた上で、御本人様と御家族様の必要としている支援を見極められるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを図りながら御入居者様のできることを行って頂き、生活の知恵を教えて頂きながら一緒に行う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に入居者と一緒に会話に参加し、近況報告などを兼てコミュニケーションを図り、本人と一緒に支える関係を築ける様努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様や馴染の方にも面会して頂ける様声掛けをしている。馴染の場所がある場合には、御家族様の協力を得て出かけられるようにしている。	職員は利用者の馴染みの場所や人との関係が途切れないよう、利用者の親戚が集まる日は自宅に帰れるよう支援している。 利用者は家族等と馴染みの店で食事をしたり、一時帰宅した時に知人に自宅を訪問してもらい、会話を楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時間にはフロアに集まる為、話題を提供する事で皆で会話を楽しんだり、レクリエーションでは1, 2階合同で開催し、交流する機会を増やして支えあえる関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も、いつでも相談できる事を伝え、関係を続けて行ける様に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	介護計画作成の流れの中で、御本人様や御家族様の意向をくみ取れるように努め、出来る限り御本人様の希望に沿った支援ができるよう心掛けている。	職員は利用者との会話を通して生活上の希望など、意向の把握に努めている。意向の把握が困難な場合は職員で話し合い、表情やしぐさなどから判断している。新たな情報は申し送りノートに記録して全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人様や御家族様との交流の中で、生活歴や生活環境のモニタリングや行動の観察から把握できるよう心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	精神、身体状況の変化及び日常の些細な行動や運動等、個人ごとに毎日記録を残し、申しを来る事で現状を総合的に把握できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書作成するに当たり、定期的にケアカンファレンスを実施し、御本人様・御家族様・スタッフ等の関係者の意見や要望を反映させることで、より良い支援及び、介護計画に繋がるよう留意している。また、御本人様の状態に大きな変化が生じた場合は、再アセスメントを実施し計画の修正を行っている。	介護計画は利用者や家族等の希望等を踏まえ、協力医療機関の医師や訪問看護師の意見を参考に全体会議で話し合い、介護支援専門員が作成するとともにモニタリングを3ヶ月毎に行い、長期目標は1年毎、短期目標は3ヶ月毎に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、担当の医師や訪問看護師など必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子やケアの実践、結果などを個別に記録し申し送りで情報を共有し、ケアや計画の見直しに活かしている。重要事項は別に申し送りノートに記録し必ず全職員が目を通し確認するように徹底している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人様や御家族様の要望の変化に答え、事業所の多機能性を考え活かせるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療機関、ボランティアや消防署の協力が得られている。今後も協力を働き掛けていく。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院と連携し承諾を得て上で、状態や必要に応じて御本人様や御家族様と相談をし、他科受診ができるようにしている。	今までのかかりつけ医への受診を希望する場合は家族等が受診に付き添うこととし、医療機関から診療情報提供書を提出してもらい、個人情報記録台帳に綴じて全職員が受診結果を共有している。 協力医療機関を受診する場合には職員が付き添い、適切な医療を受けられるように支援するとともに、心身の状態に変化が有る無しに係わらず家族等に電話で受診結果を報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体クリニックの看護職員に、御入居者様の状態や気付いた事を伝え、訪問看護時に適切な処置や受診のアドバイスを受けられる支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	受診や入院の際には、必ず職員が付添い情報提供、交換を行っている。近隣の病院とも連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居経過や状態により、本人や家族の意向を聞き、方針をスタッフ全員で共有しカンファレンス等で変化に対応した支援ができるように支援している。	利用者が食事を摂食できなくなったら重度化とみなし、事業所で支援ができるかどうか医師の判断を仰いでいる。 事業所は看取りの経験がなく、重度化した場合の説明は契約書の最後に数行表示するのみであり、重度化や終末期に向けた方針に対する同意を得るまでには至っていない。 重度化や終末期対応についてのマニュアルを作成するまでには至っていない。	重度化した場合や終末期の事業所の対応指針を明文化し、事業所としてできることとできないことを利用者や家族等に十分説明して書面で同意を得ることを期待する。 重度化した場合や終末期の対応マニュアルを作成することが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応、手当、事故発生時の初期対応についてマニュアルに沿って対応ができるように勉強会を開催している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て定期的に防災訓練を行っており、避難方法、消火方法留意点を確認しマニュアルを作成している。また、スプリンクラーも設置している。	避難訓練は年2回実施し内1回は夜間想定 の避難訓練を実施している。 避難訓練後は全職員で反省会を行い、訓練時の進行状況や課題等を話し合い、記録に残すとともに次回の訓練の参考にして いる。 避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 災害時に備えて乾パンや缶詰、毛布、カセットコンロ、カセットコンロ用ガスボンベを備蓄しているほか、飲料水については貯水槽を装備している。 備蓄品の品名や数量、賞味期限などを明記した一覧表を作成するまでには至っていない。	避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう、運営推進会議を通して委員から地域住民に協力を呼びかけてもらえるよう依頼することを提案する。 備蓄品の一覧表を作成し、在庫を管理することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の人格を尊重し、プライバシーを保てるよう言葉使いや対応に注意している。接遇研修や勉強会で習得し実践している。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重した対応に努めており、利用者が食事をせかしたり、噛みつくなどの行為があっても笑顔で穏やかに接している。 排泄時の声かけは周囲の人に気付かれないようさりげなく誘導している。 個人情報に関する書類は職員更衣室の鍵のかかるロッカーに保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の自己決定を引き出せるような分かりやすい説明、選択方法、対応を心掛けている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事への参加や入浴、食事の時間帯等、出来るだけ御本人様の意思を尊重し、職員の都合を優先しないように配慮している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理容師に来てもらい、希望者はカットやセットをして頂いている。季節に合った服装や身だしなみが整えられるようアドバイスしたり、御家族様に持って来て頂いている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員見守りの元、それぞれが自分のできる形で、食事の準備や片付けに携わっている。	職員は利用者と同じテーブルに着き、食べこぼしや嚥下に注意を払いながら楽しく食事ができるように支援している。 嚥下が困難な利用者にはとろみ食を提供しているほか、一人で摂食が困難な利用者には職員が食事介助をしている。 利用者はできる範囲でおしぼりたたみや下膳などの役割を担っている。 ちらし寿司やクリスマスのチキンなど季節に合った食事を提供し、食事が楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分チェック表を利用し、入居者一人一人の摂取量に気を配り、1日摂取量を把握し状態に応じた支援ができるように配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔状態や本人の力に合わせ、うがい、歯磨きを行い口腔ケアに努めている。また、夜間帯は義歯を外し消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表により、個々の排泄パターンを把握し、時間で声掛け誘導をしている。車いす使用であっても、介助にて便座に座るようにし、自立に向けた支援をしている。	利用者の殆どは紙パンツやパッドを使用しているが、職員は昼間は紙パンツの使用が減らせるよう排泄チェック表を確認しながら適切に声をかけ、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分調整に留意すると共に、おやつには整腸作用のあるヨーグルトを摂取している。また、運動時間を多く取れるようにしている。困難な便秘のある方には、医師が便秘薬を処方している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	御入居者様の入浴希望日を決めて、御本人様の希望、事情、タイミング、体調に合わせて調整し入浴できるようにしている。	週3回午後入浴を基本としているが、職員は利用者の体調が悪い場合は訪問看護師やクリニックに連絡して判断を仰ぎ入浴支援をしている。 入浴を拒む利用者には下着を交換したり、入りたい気持ちになるまで待ち、入浴が楽しめるよう支援している。 季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れ、利用者が楽しく入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はメリハリのある生活をして頂き、希望時は休息できるように配慮している。一人一人の睡眠パターンの把握に努め、安眠できるように留意している。必要時には医師により本人に合う眠剤を処方してもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	御入居者様一人一人の薬剤情報がカードックスに記載されており、職員はそれを確認し正しい服薬の支援に努めている。また、訪問看護師のアドバイス等で、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のできる事、得意な事を見出し、役割を持って張り合いのある生活を送って頂ける様に心掛けている。天気の良い日は戸外ベンチで日光浴をするなど気分転換できるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員により、天候や体調を見ながら年間行事や散歩等外出の機会を作っている。御家族様の協力を頂きドライブを計画し、安全を考慮して出かけるようにしている。	天気の良い日は利用者と職員と一緒に近くの公園まで散歩をしている。 職員は利用者の希望にそって近くの大型電気店や百元ショップ、洋品店に出かけられるよう支援しているほか、季節毎に公用車で偕楽園や海浜公園、果物狩りなどに出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物等で金銭を所持する時には、御家族様と一緒に出掛けてもらうように協力をお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人様の希望時にいつでも施設の電話を使用し掛けている。年に2回年賀状と暑中見舞いを作成し郵送している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	暖色系のカーテンや暖簾で明るく落ち着いた雰囲気、毎日の掃除により清潔で観葉植物や花のある心和む空間を作っている。室温も常に快適な温度を保っている。	廊下にソファを置いて利用者が一人で寛げるように配慮している。 居間兼食堂にはDVDを設置しているほか、観葉植物や利用者の折り紙の作品を飾っている。 廊下に手すりを設け、利用者が安心して歩行ができるよう配慮している。 脱衣所にカーテンを設置してプライバシーに配慮するほか、浴室にベンチ式の椅子を置いて利用者が安全に横移動や体が洗えるよう工夫をしている。 トイレには手すりを設置しているほか、車いすでも対応できる広さを確保している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや玄関先にベンチを置き、気の合った御入居様同士や職員と談話したり、一人になったりできるスペースを確保している。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にテレビや家具を完備しており、御本人様の写真や小物などの私物が飾られ、居心地良くその人らしい部屋作りができています。	居室にはベッドや布団、カーテン、ロッカー、テレビ、テレビラック、エアコンが備え付けられている。 利用者は家族等の写真や整理筆筒、衣類などを自由に持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。 居室の入り口に利用者の名前を書いた暖簾を下げて利用者が部屋を間違わないよう工夫をしている。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりやバリアフリーを考慮しており、物の置き場所はその都度話し合い、御入居者様の行動や使いやすさを考えて環境整備にあたる。	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホームますおか内科

作成日 平成24年9月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関の施錠について家族に書面の上で同意を得ていない	御家族様・入居者様へ書面での説明承諾を頂き、入居者様にストレスや閉塞感などを与えないように配慮する。	事故防止の為のやむを得ない身体拘束(施錠)として、御家族様や入居者様に説明し、同意書を作成、承諾をいただく。	6ヶ月
2	33	看取りの具体的な支援方法を明記していない	看取りの具体的な支援方法を明記する	事業所全体で出来る事と出来ない事について話し合い、看取りの具体的な支援方法を明記し、契約時に入居者様や御家族様の同意を得よう努める。	12ヶ月
3	35	避難訓練に近隣の方の参加が無い	地域の方々に避難訓練に参加して頂く	運営推進委員会で災害時の協力体制について話し合い、近隣の方に避難訓練の参加をお願いする。	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。